

反動の嵐に抗して！

2012年
1月31日
No8

JR 東海労働組合
大台両所分会
発行者 西村泰弘
編集 教宣部

「ひとり KYT」を社員管理の道具にする会社！！

とにかく、現場に行って「ひとり KYT」をしろ！！

1月16日に台車検査の体制変更が行われました。

始業時間、終業時間は変わらないものの、1日四両の16本台検になり、労働密度が高くなりました。また同時に、昼の休憩時間も12時20分から13時20分へと変更になりました。そして、作業体制とともに午後からの作業前の「ひとり KYT」のやり方も大きく変更になりました。

午後のかかりの5分間を「ひとり KYT」の時間とし、管理者以外の全社員は毎日、「ひとり KYT」を行い用紙を提出するようになりました。

また、16日から13時15分頃より社員が休憩している検修員詰所に社歌を流し、休憩時間にもかかわらず多数の管理者が押し寄せ、「20分から現場でひとり KYT を行うよう」指示を行ってきました。

つまり「ひとり KYT」は業務で行うこととしたのです。

このことにより、当然にも昼休みに事務所棟の検修員詰所で休んでいる社員は、現場までの移動時間(約5~6分)をただ働きとして強要をされるとになりました。

おかしいのはこれだけではありません。

午後から出張やペーパーテストのため、本来業務から外れている社員にも、管理者は「現場に降りて、ひとり KYT を提出してから、上がってくるように」と言っています。

一体、午後から出張やペーパーテストに指定されている社員に、どのような KYT をやれというのでしょうか？

多くの社員が首をひねるようなことを、会社は平気でやっているのです。

会社の狙いは黙って従う社員づくり

なぜ、会社はこのような誰もが可笑しいと思うことをするのでしょうか？

それはとにかく、この台検の体制変更を機にして会社の命令に黙って従う社員をつくりあげようとしているからです。

そして、これから会社はどんどん終わりなき効率化を勧めて行きます。

そのことにより、結局は苦しい思いをするのは私たち現場で働く社員です。

みなさん、このような職場で本当に人間らしく働き続けられますか？

おかしい事はおかしいと職場から声をあげましょう！！

